

# 勤務条件

(令和6年4月1日現在)

**勤務時間** 8:30～17:15(うち60分休憩あり)

**休暇**

年20日の年次有給休暇のほか「ワークライフバランス」の実現のため、様々な休暇制度があります。

**平均残業時間** 12.7h / 月 ※令和5年度実績

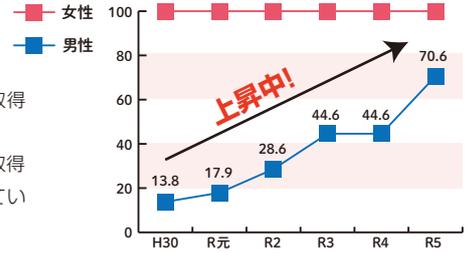
**休日** 土曜日、日曜日及び祝日並びに12月29日から翌年1月3日

## 令和5年度育児休業取得率実績

**男性 70.6%**

**女性 100%**

福島市では育児休業の取得を促進しています。所属長から男性職員にも積極的な取得を呼びかけており、育児休業を取得する職員を職場全体で応援する体制が整っています。男性職員の育児休業取得率は年々高まっており、令和5年度は過去最高の取得率となりました。今後も取得目標の85%に向けてさらに取得を促進していきます。



## 給与制度

### 初任給

行政職	(大卒程度) 230,300円 (高卒程度) 198,000円
消防職	(大卒程度) 234,400円 (高卒程度) 204,800円
保育士	(大卒程度) 230,300円 (短大卒程度) 217,500円
労務職	(例)18歳 189,400円

### 各種手当

期末勤勉手当	年間 4.6か月分 (令和6年12月1日現在)
扶養手当	配偶者 月額 6,500円
	子 月額 10,000円 ※満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子については、1人につき5,000円を加算。
	その他の扶養親族 月額 6,500円
住居手当	借家 限度額 28,000円
通勤手当	交通機関利用の場合 限度額 38,010円
	自転車・自動車使用の場合、距離に応じて4,000～19,500円

※金額については、改定となる場合があります。

など

## 研修制度

### 新規採用職員研修

年2回実施しています。4月の研修では公文書の書き方など公務員として持つべき知識や意識について学びます。10月の研修では議会、選挙、会計などより専門的な知識を習得します。また福島県内の自治体職員を対象に行われる「ふくしま自治研修センター」の研修もあります。

### キャリアに応じた研修

新任係長研修、新任課長研修などキャリアに合わせて必要なスキルの習得や能力の向上を図ります。

## 自己啓発促進制度

福島市は自己啓発を自主性だけでなく組織的に推進するため下記制度を導入しています。

- 1 資格取得制度(建築士、IT・情報系資格など)
- 2 通信教育講座の受講にかかる助成
- 3 大学院就学にかかる助成
- 4 自主研修グループに対する支援

※人材育成部門が定めるものに限ります。

# 福島市データ

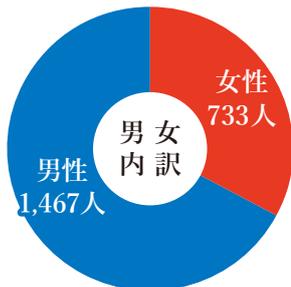
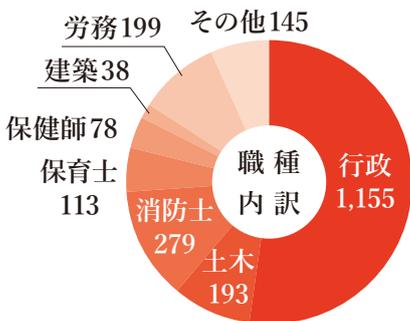
(令和6年4月1日現在)

### 職員数

2,200人

### 平均年齢(一般行政職)

40.6歳



## 採用情報

### 採用スケジュール

第1次試験 先行実施▶ 4月下旬 第1期▶ 6月下旬	第2次試験 5月下旬 7月下旬	合格発表 6月上旬 8月下旬
内定者交流会 12月下旬	説明会 3月下旬	採用 4月1日

### SPI試験

福島市ではSPI試験による採用を導入しています。導入により従来よりも様々な方が受験しやすくなりました。

### オープンカンパニー

福島市では毎年夏にオープンカンパニーを実施しています。福島市役所の仕事や市政の運営に関心がある方で学年を問わず、大学院、大学、短期大学に在学中の方を対象に実施しています。

## 福島市役所 人事課

〒960-8601 福島県福島市五老内町3-1  
☎024-525-3703(直通)  
<https://www.city.fukushima.fukushima.jp>



詳しい採用情報は  
こちらをCheck!



JR福島駅より福島交通市内循環バス  
福島市役所前又は福島市役所入口下車